

10月13日(土)に総合防災訓練を実施します

避難および避難所設営などの訓練中心に

訓子府町防災会議と訓子府町は、10月13日(土)午前9時から町公民館および町公民館駐車場などで平成30年度訓子府町総合防災訓練を実施します。

主な訓練の時間帯は下記のとおりです。

訓練は、住民参加型で「自助・共助」の啓発を図ることを目的に自主防災組織も参加いただき、大地震による被害を想定し、避難や避難誘導、避難所設営、さらに災害対策本部における情報伝達訓練などを実施します。

また体験・展示のコーナーも設け、見て、体験することでも防災意識の高揚を図ります。

※災害が発生した場合、または災害が発生する恐れがある場合など中止することがありますので、ご了承ください。

- 時間帯 9:00～13:00(予定)
- 会場 町公民館・町公民館駐車場・町内一円



平成27年東幸町防災訓練(左)
平成28年東幸町防災訓練(右)



(訓練の進行状況により時間が前後する場合があります)

～主な訓練時間帯～

- 8:40 ○事前広報
- 9:00 ○訓練開始
- 大サイレン吹鳴
- 地震発生
- シェイクアウト訓練
- 9:08 ○災害対策本部設置
- 9:12～ ○情報収集・情報伝達訓練
- 11:30 ○避難訓練(誘導・安否確認・避難所設営)
- 消火および救助訓練
- 給水訓練
- 11:40～ ○体験・展示
- 13:00 ・初期消火訓練、煙体験ハウス、災害用自動販売機使用講習
- ・自衛隊炊き出し試食体験、血圧測定、防災メール登録
- ・防災パネルおよび写真展示(10月9日～13日)

■ 問合せ 総務課交通防災係 ☎ 47-2112 役場2階 窓口10番

平成30年北海道胆振東部地震

全道で停電発生、訓子府町でも最大43時間

酪農業に大きな被害

9月6日午前3時7分ごろに胆振地方中東部を震源としたマグニチュード6.7(最大震度7～厚真町)の地震が発生しました。この地震の影響で、震源地に近い苫厚真火力発電所をはじめ、道内の火力・水力発電所が相次いで停止したため、本町でも全域にわたって停電する事態が発生しました。

本町では、震度2を観測しました。揺れによる被害はなかったものの、長時間停電が発生しました。翌7日の午前1時49分ごろに一部地域で通電されましたが、全町復旧は7日の午後10時24分ごろで、最大43時間の停電となりました。

町役場庁舎は、地震発生直後に自家発電が稼働し、午前3時30分ごろから職員が役場において情報を収集、午前6時に災害警戒本部を立ち上げるとともに、町民の皆さんへの情報伝達を行いました。

広報車による広報をはじめ、町内会長・実践会長への電話連絡やホームページ、防災メールなどで情報提供を進める中、午後5時町公民館に自主避難所を開設し、7日の全域復旧後の午後10時45分に自主避難所を閉鎖しました。

また在宅酸素治療の方の状況確認および人工透析患者を北見の病院へ搬送したほか、福祉施設への発電機の貸し出し、水の安定供給のための上下水道対応、消防水槽車による配水池への給水などを実施しました。

しかし、長時間停電による乳製品工場の操業ストップ、輸送業界もストップするなど酪農業の方は、搾った牛乳を出荷できない状況となり、186tの生乳の損失が発生しました。

さらに食料品やガソリンの不足など皆さんの日常生活に大きな影響を及ぼしました。

これから冬季を迎えます。厳寒期も想定した備えを心掛けましょう。

日常の備えを

町としても、各種災害を想定した備蓄や災害発生時の対応に万全を尽くしていきます。皆さんも防災用品など最低限の「備え」を心掛けてください。



■ 無理のない範囲での節電を

北海道胆振東部地震による停電の影響で、国や北海道、北海道電力は通常の2割の節電を呼びかけ、本町でも公共施設での開館時間の短縮などで対応していましたが、9月19日に苫厚真火力発電所の1号機、9月25日には4号機が稼働したことにより電力確保の見通しが立ったため、今後については道は、例年のように「無理のない範囲での節電を」と呼びかけています。